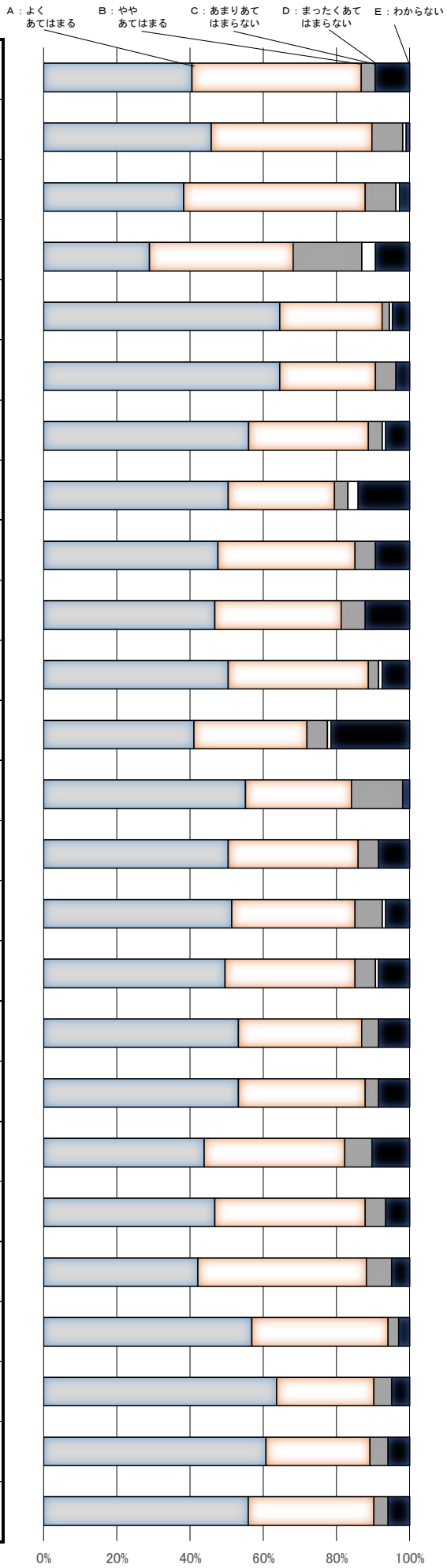
# 令和６年度　岐阜県立大垣養老高等学校アンケート集計結果（保護者）

三者懇談期間（7月11日～7月18日）に実施

調査人数　107名

| | | | A | A+B |
|---|---|---|---|---|
| 開かれた学校づくり | 1 | 教育目標である「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材の育成」の実現を目指した学校経営に努めている。 | 41 | 87 |
| | 2 | HPやメール等を活用して、保護者や地域に向けて、適切な情報発信や広報活動を積極的に行っている。 | 46 | 90 |
| | 3 | 学校の情報発信や広報活動はわかりやすい。 | 38 | 88 |
| | 4 | 学校開放や見学会等を実施するなど、保護者や地域の方が学校を参観する機会を提供できている。 | 29 | 68 |
| | 5 | 教職員は、電話や対面の際に、保護者や地域の方に対して適切に応対している。 | 64 | 93 |
| | 6 | 保護者等からの徴収金について、適切に処理し、その内容について公表している。 | 64 | 91 |
| | 7 | 教職員は、学校経営や教育活動に熱心に取り組んでいる。 | 56 | 89 |
| | 8 | 体罰やハラスメントの防止に努めている。 | 50 | 79 |
| 学習指導 | 9 | 日々の授業を通して、生徒の学力伸長に取り組んでいる。 | 48 | 85 |
| | 10 | 補習や検定対策等の指導・支援を通して、一人ひとりの能力に応じた指導を行っている。 | 47 | 81 |
| | 11 | 外部（地元自治体、高等教育機関、地元企業、地域住民等）との連携を生かした教育活動に積極的である。 | 50 | 89 |
| | 12 | 学校はICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、オンライン等での学習支援などにより生徒の理解を高めようと努力している。 | 41 | 72 |
| 生徒指導 | 13 | 高校生としてのマナーや社会規範を身に付けるための指導を行っている。 | 55 | 84 |
| | 14 | いじめや差別を許さず、厳格に対応している。 | 50 | 86 |
| | 15 | 生活安全（防犯、熱中症等）、交通安全、災害安全に関する指導が適切に行われている。 | 51 | 85 |
| | 16 | 教育相談体制の充実など、生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりに努めている。 | 50 | 85 |
| 進路指導 | 17 | 進路説明会を実施するなど、生徒・保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。 | 53 | 87 |
| | 18 | 大学見学や企業見学等を実施し、生徒が進路について考える機会を提供している。 | 53 | 88 |
| その他 | 19 | 清掃活動や施設・設備の点検・管理・修繕等により、環境整備に努めている。 | 44 | 82 |
| | 20 | 学校行事や部活動、生徒会活動等を通して、生徒が充実した学校生活を送れるよう取り組んでいる。 | 47 | 88 |
| 学校独自項目 | 21 | 学校は、あいさつ運動や様々な学習活動を通じて、コミュニケーション能力を身に付ける指導を行っている。 | 42 | 88 |
| | 22 | 学校は、資格取得など明確な目標を持たせ、その達成に努めている。 | 57 | 94 |
| | 23 | 学校は、部活動を活性化したり、新商品の開発や普及活動など、学校の知名度を上げるように努めている。 | 64 | 90 |
| | 24 | 学校は、体験学習を通じて、職業観や勤労観の育成に努めている。 | 61 | 89 |
| | 25 | 学校は、地域との連携に努めている。 | 56 | 90 |